

いのちと地域を守る

■ 台風発生 史上最速ペース



「あるかも」心構えを

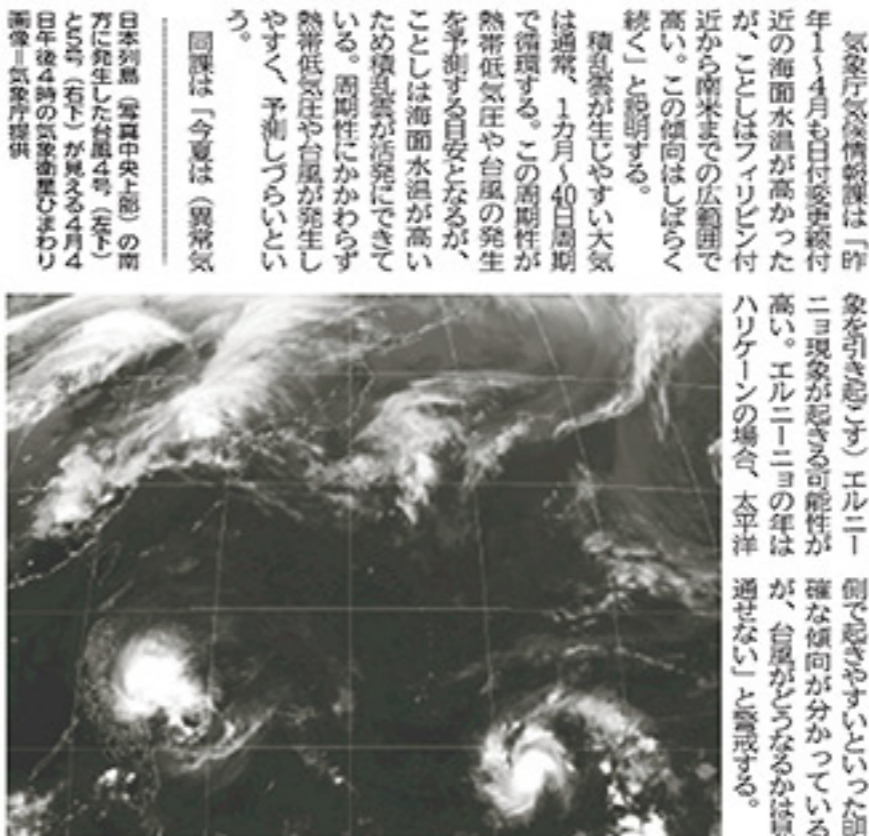
星野気象予報士に聞く

ことし大規模な台風発生が懸念されている。東北地方では、既に今年最初の台風発生が確認されている。気象予報士星野健さん(32)に聞いた。

◇ 東日本大震災後、宮城県で発生した大規模な津波の影響もあって、東北地方の防潮堤の整備が進んでいる。2014年10月の台風19号では、女川町と石巻市を結ぶ国道308号などの主要道路が通行止めとなり、町が一時的に孤立した。

気象庁の統計によると、4月までには1981～2010年の平均値(1.3個)に達している。このペースは、4月までに5個発生した。台風が起きやすい状態は当面続くと考えられ、気象関係者は注意と備えを呼び掛けている。

海面水温の高さの影響



海面水温の高さの影響

「気象庁の発表によると、今年1～4月の海面水温は、1981～2010年の平均値(15.8度)を大きく上回った。この傾向は、今後も続く」と星野さん。

海面水温が高くなると、大気中の水蒸気量が増え、大気が暖かくなる。その結果、大気中の水蒸気が凝結して雲や雨を生じやすくなる。また、海面水温が高くなると、海面から大気へ熱が伝わりやすくなる。この結果、大気中の熱エネルギーが増え、大気が不安定になる。その結果、大気中の熱エネルギーが凝結して雲や雨を生じやすくなる。

考える

2014年に続き、ことし台風が史上最高ペースで発生している。1～4月に発生した数の平均値(1981～2010年)1.3個に対し、ことしは4月までに既に5個発生した。台風が起きやすい状態は当面続くと考えられ、気象関係者は注意と備えを呼び掛けている。

気象庁の発表によると、今年1～4月の海面水温は、1981～2010年の平均値(15.8度)を大きく上回った。この傾向は、今後も続く」と星野さん。

海面水温が高くなると、大気中の水蒸気量が増え、大気が暖かくなる。その結果、大気中の水蒸気が凝結して雲や雨を生じやすくなる。また、海面水温が高くなると、海面から大気へ熱が伝わりやすくなる。この結果、大気中の熱エネルギーが増え、大気が不安定になる。その結果、大気中の熱エネルギーが凝結して雲や雨を生じやすくなる。

事前準備

- ◇ 避難所の指定避難所を確認する
- ◇ 避難所までのルートを確認する
- ◇ 土のうを準備する

直前・発生時にすること

- ◇ 気象情報をチェックする
- ◇ 早めに避難所へ移動する
- ◇ 避難所での行動要領を確認する

5つの県内の観測史上最多を記録した。海に近づくと、活発な雨雲がのびやすくなる。台風による大雨は、ゲリラ豪雨や暴風となり、勢力や進路が高い精度で予想できる。特に秋の台風は北側に秋雨前線を伴っており、早い段階から雨量が増える恐れがある。

伝える

■ 海を眺める住民に危機感 (青森・階上町)

第3波で大きな被害



青森県階上町の釣具店経営者坂下利助さん(64)は町の消防団副団長として、海に面した同町大蛇地区で消防車を走らせ、住民に高台への避難を呼び掛けた。



第3波で大きな被害

2011年3月11日、坂下さん提供

坂下利助さんは、釣具店の経営者として、町民の安全を守るために、町民に高台への避難を呼び掛けた。第3波の津波が来ると、大蛇地区では約40棟の住宅や店舗が全壊などの被害を受けた。坂下さんは、町民の安全を守るために、町民に高台への避難を呼び掛けた。

生活に根付いた減災 三陸沿岸体で覚える

探る 東北大教授 川島 秀一さん



川島 秀一さん

三陸沿岸体で覚える

津波発生後、三陸沿岸体で覚える

現場から



現場から

ベテランと若手 経験共有

JR東日本秋田支社 総合訓練センター所長 上野 司さん(59)

運転士や車掌、駅係員を対象に、災害や事故を防ぎ、万が一の時に被害を食い止めるための訓練をしています。

生活に根付いた減災 三陸沿岸体で覚える

川島 秀一さん

津波発生後、三陸沿岸体で覚える

現場から

ベテランと若手 経験共有

JR東日本秋田支社 総合訓練センター所長 上野 司さん(59)

運転士や車掌、駅係員を対象に、災害や事故を防ぎ、万が一の時に被害を食い止めるための訓練をしています。

顔の見える防災を進める

宮城県七ヶ浜町総務課 防災対策室主任兼交通防災係長 青木 徹さん(45)

七ヶ浜町では東日本大震災前に全20地区で自主防災会ができていました。防災マップを独自に作成していた会もあり、備え

顔の見える防災を進める

宮城県七ヶ浜町総務課 防災対策室主任兼交通防災係長 青木 徹さん(45)

七ヶ浜町では東日本大震災前に全20地区で自主防災会ができていました。防災マップを独自に作成していた会もあり、備え

現場から

ベテランと若手 経験共有

JR東日本秋田支社 総合訓練センター所長 上野 司さん(59)

運転士や車掌、駅係員を対象に、災害や事故を防ぎ、万が一の時に被害を食い止めるための訓練をしています。

現場から

ベテランと若手 経験共有

JR東日本秋田支社 総合訓練センター所長 上野 司さん(59)

運転士や車掌、駅係員を対象に、災害や事故を防ぎ、万が一の時に被害を食い止めるための訓練をしています。